

## 「パソコン決裁 6 捺印ツール Standard Edition」 インストーラのカスタマイズ

### ・ この文書の説明

この文書は、「パソコン決裁 6 捺印ツール Standard Edition」 インストーラの実行時に引数として可能なオプション設定とその内容について記述されています。

この文書は、コマンドラインによるインストーラの実行についての知識があることを前提に記述されています。

### ・ 方法

「パソコン決裁 6 捺印ツール Standard Edition」 インストーラには次のようなオプションが利用でき、インストールをカスタマイズすることができます。

#### [/quiet] オプション

インストール時に、ユーザインタフェースの画面を表示しないでインストールを行います。

例 : SetupDstmp32.msi /quiet

ユーザインタフェースを表示しないですべて既定値でインストールを行います。

#### [/passive] オプション

インストール時に進捗状況のみを表示してインストールを行います。

例 : SetupDstmp32.msi /passive

インストールの進捗状況を表示してすべて既定値でインストールを行います。

#### [TARGETDIR] オプション

インストール時のインストール先を指定します。

例 : SetupDstmp32.msi TARGETDIR="X:\<FolderName>\"

インストール先を "X:\<FolderName>\" に変更します。

#### [ALLUSERS] オプション

インストール時のメニューの追加先を指定します。(2 : すべてのユーザ)

例 : SetupDstmp32.msi ALLUSERS=2

メニューの追加先を「すべてのユーザ」に変更します。

#### [DEFAULTFILEPATH] オプション

インストールを行ったユーザが捺印ツールを起動した場合に初回に参照する捺印用印鑑データファイルの場所を指定します。※既に参照先が設定されている場合にはこのオプションは無効になります。

例 : SetupDstmp32.msi DEFAULTFILEPATH="\\<ServerName>\<ShareName>\STMPDAT.DSM"

捺印ツールが参照する捺印用印鑑データファイルの場所を "\\<ServerName>\<ShareName>\STMPDAT.DSM" に変更します。

#### [ALLUSERSDEFAULTFILEPATH] オプション

インストールを行ったコンピュータでユーザが捺印ツールを起動した場合に初回に参照する捺印用印鑑データファイルの場所を指定します。※既に参照先が設定されている場合にはこのオプションは無効されます。

例：SetupDstamp32.msi ALLUSERSDEFAULTFILEPATH="\\<ServerName>\<ShareName>\STMPDAT.DSM"  
捺印ツールが参照する捺印用印鑑データファイルの場所を"\\<ServerName>\<ShareName>\STMPDAT.DSM"に変更します。

#### [DELAYTRANSIMPRESSLOG] オプション（サービスリリース 2 インストーラからの適用）

インストールを行ったコンピュータで、捺印ツールが起動する捺印ログの遅延転送の既定値を指定します。"0"を指定した場合には無効が既定値となり、"1"を指定した場合には有効が既定値となります。

例：SetupDstamp32.msi DELAYTRANSIMPRESSLOG =1

〔共通設定〕画面が表示された際に捺印ログの遅延転送の既定値に有効に変更します。

#### [DEFAULTLOGINTYPE] オプション（サービスリリース 2 インストーラからの適用）

インストールを行ったコンピュータで捺印ツールを起動した際に表示される〔ログイン機能の選択〕画面で表示される認証の種類を指定します。※既に認証の種類が設定されている場合にはこのオプションは無効されます。

例：SetupDstamp32.msi DEFAULTLOGINTYPE=1

〔ログイン機能の選択〕画面が表示された際に既定で選択される認証の種類を Windows 認証に変更します。既定値は"0"（パソコン決裁 認証）です。

#### [TRACELOGMODE] オプション（サービスリリース 2 インストーラからの適用）

インストールを行ったコンピュータで、捺印ツールで捺印操作が行われた場合に出力されるログを出力する機能の有効化を指定します。"0"を指定した場合にはログの出力機能が無効となり出力されません、"1"を指定した場合にはログの出力機能が有効となりログが出力されます。

例：SetupDstamp32.msi TRACELOGMODE =1

捺印時のトレースログ（捺印履歴ではありません）を有効に変更します。

出力されたログファイルは

[X:\Documents and Settings\<Windows ログインしているアカウント名>\Local Settings\Temp] フォルダ内に Ds\*\*\*\*.log（\*\*\*内にはランダムな英数字が入ります）に出力されます。

#### ・影響を受けるソフトウェア

パソコン決裁 6 捺印ツール Standard Edition インストーラ